

千曲川新道活性化プラン

～長野電鉄旧屋代線活用基本構想～



平成 24 年 12 月
長野市

目 次

(項 目) (ページ)

第1章 策定の目的

- 1 目的 1
- 2 対象となる鉄道資産 2
- 3 検討体制 3

第2章 諸課題の整理と基本的な考え方

- 1 諸課題の整理 4~6
- 2 基本的な考え方 7~8

第3章 ゾーン別活用方針

- 1 概要 9
- 2 ゾーン別活用方針 10~20

第4章 実現に向けて

- 1 整備計画の策定 21
- 2 施設の維持管理等について 21
- 3 長期的な構想について 21

第1章 策定の目的

1 目的

平成24年4月1日に廃線となった長野電鉄屋代線の跡地については、長野電鉄株式会社から平成23年10月に、地域発展に役立ててほしいとの意向で「関連施設」について「一括無償譲渡」の申し出がされました。

この申し出に対し、本市としては、跡地の活用方針が決定したのから無償譲渡を受けられることを表明し、跡地の有効活用について検討を進めてきました。

旧屋代線は、沿線地域の中心部を通過している箇所も多く、跡地が長期間放置されることは望ましいことではありません。

そのため、沿線地域における都市構造や交通状況等を踏まえ、地域の活性化に資する活用策について、松代地区及び若穂地区の跡地活用検討組織からの検討結果並びに庁内各所属の活用方法を集約し、千曲川新道活性化プラン～長野電鉄旧屋代線活用基本構想～（以下、「基本構想」という。）として跡地全体の整備方針をまとめたものです。

今後、長野電鉄株から必要な資産の譲渡を受け、維持管理等は沿線地域と協働のもとに、基本構想に基づいた整備計画を策定し、活用策の実現を図っていきます。

2 対象となる鉄道資産

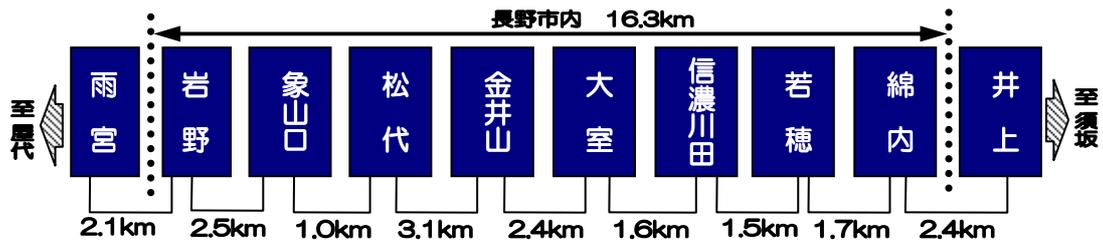
長野電鉄(株)からの「一括無償譲渡」の申出書によると、跡地の資産は表 1、長野電鉄屋代線の跡地全線は図 1 のとおりです。

【表1】

	全線	長野市内分	
距離(単線換算)	24.4km	16.3km	—
駅舎数	12 駅	8 駅	—
鉄道用地面積	256,076 m ²	179,769 m ²	
内訳	線路敷地	111,360 m ²	
	隧道(3箇所)	296.3m	
	変電所用地	3,774 m ²	
	停留所用地	58,056 m ²	

※用地は、地番で算出しているため前後の線路敷地を含むなど概ねの数値です。

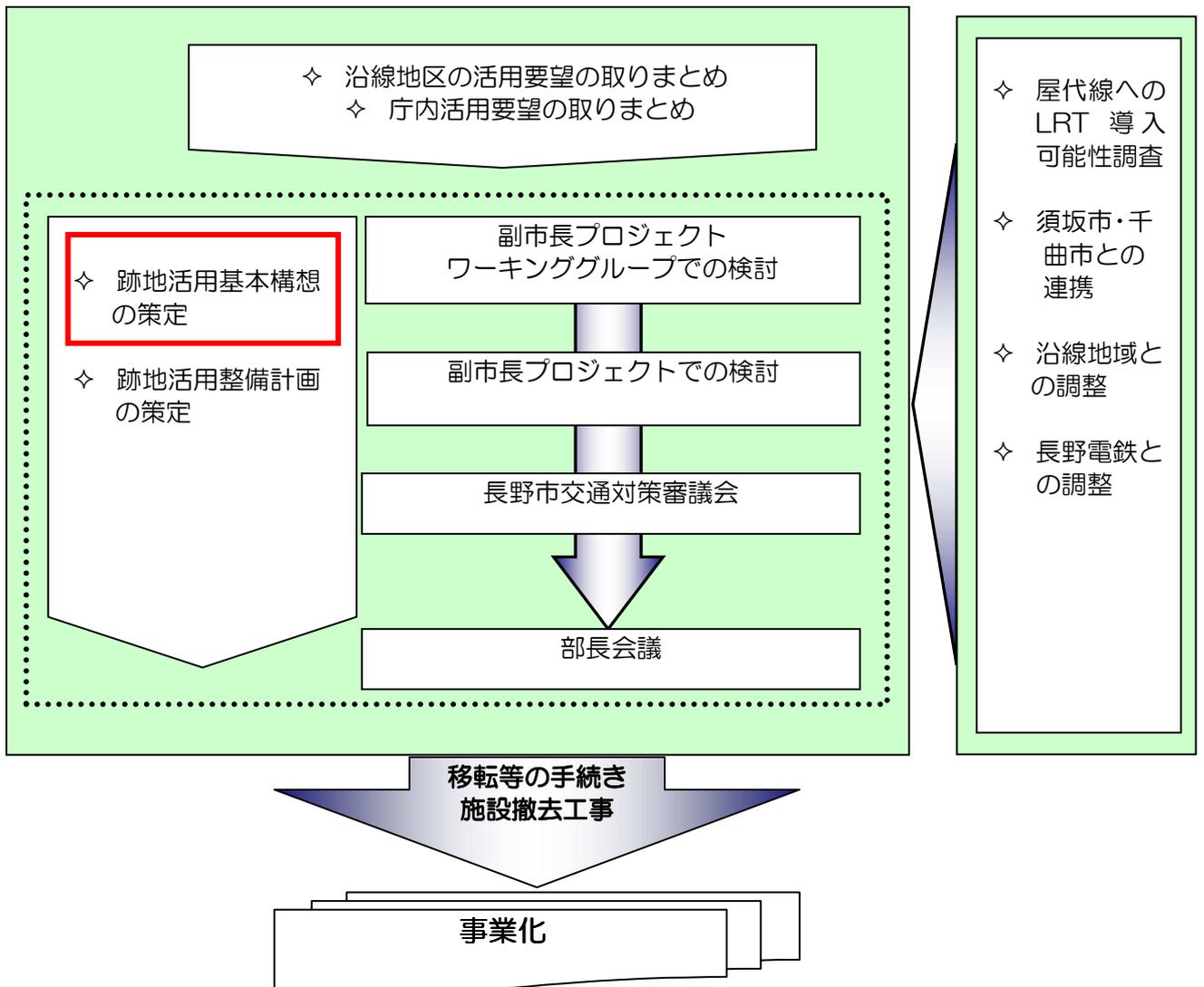
【図1】



3 検討体制

策定に向けては、松代地区及び若穂地区の跡地活用検討組織からの活用検討結果並びに庁内各所属の活用方法を集約するとともに、旧屋代線の既存鉄道施設を活用した屋代・須坂間の次世代型路面電車システム（LRT）の導入が「現時点では、導入困難である」とする調査結果を踏まえて、庁内組織である副市長プロジェクトチーム及び長野市交通対策審議会における協議、沿線地域との調整等を重ね、基本構想の策定を進めてきました。

【構想策定の検討体制】



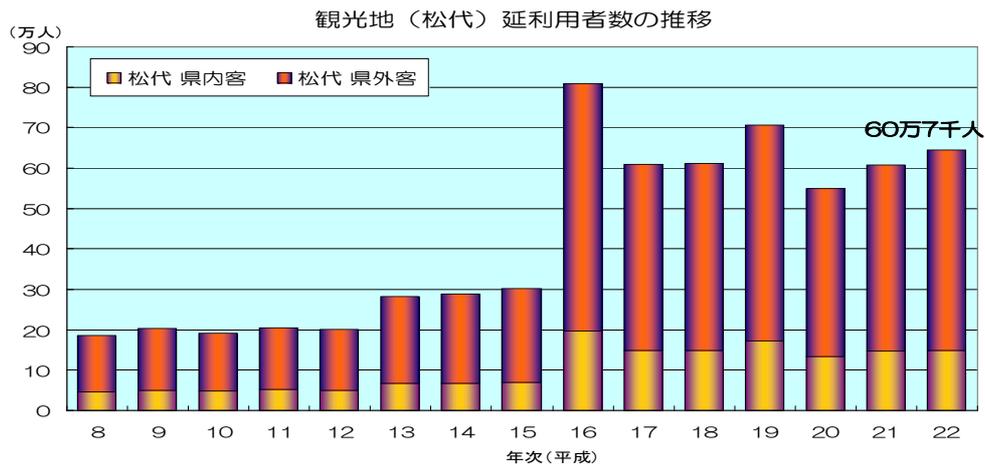
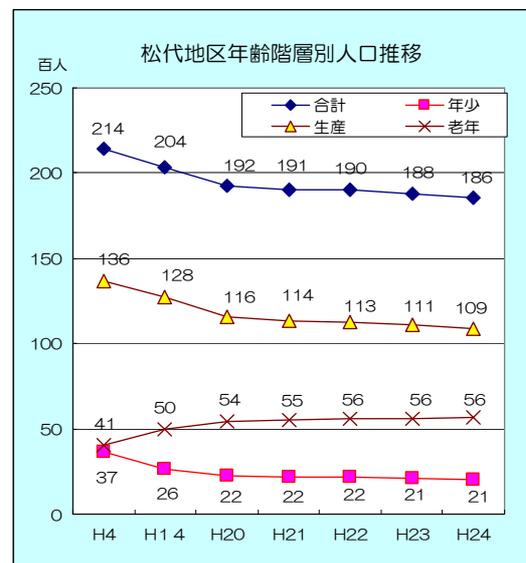
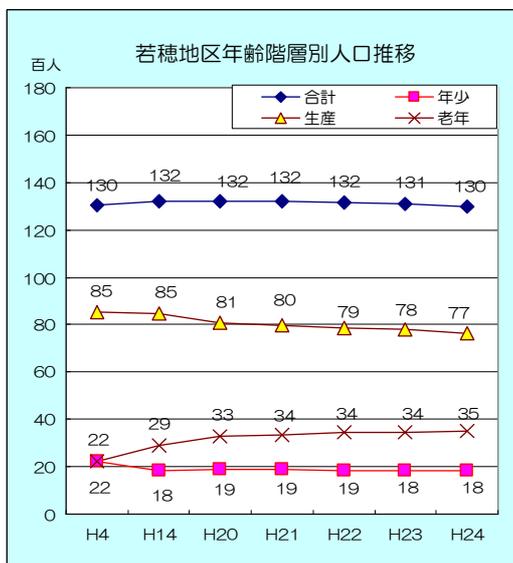
第2章 諸課題の整理と基本的な考え方

1 諸課題の整理

(1) 沿線地域の現状

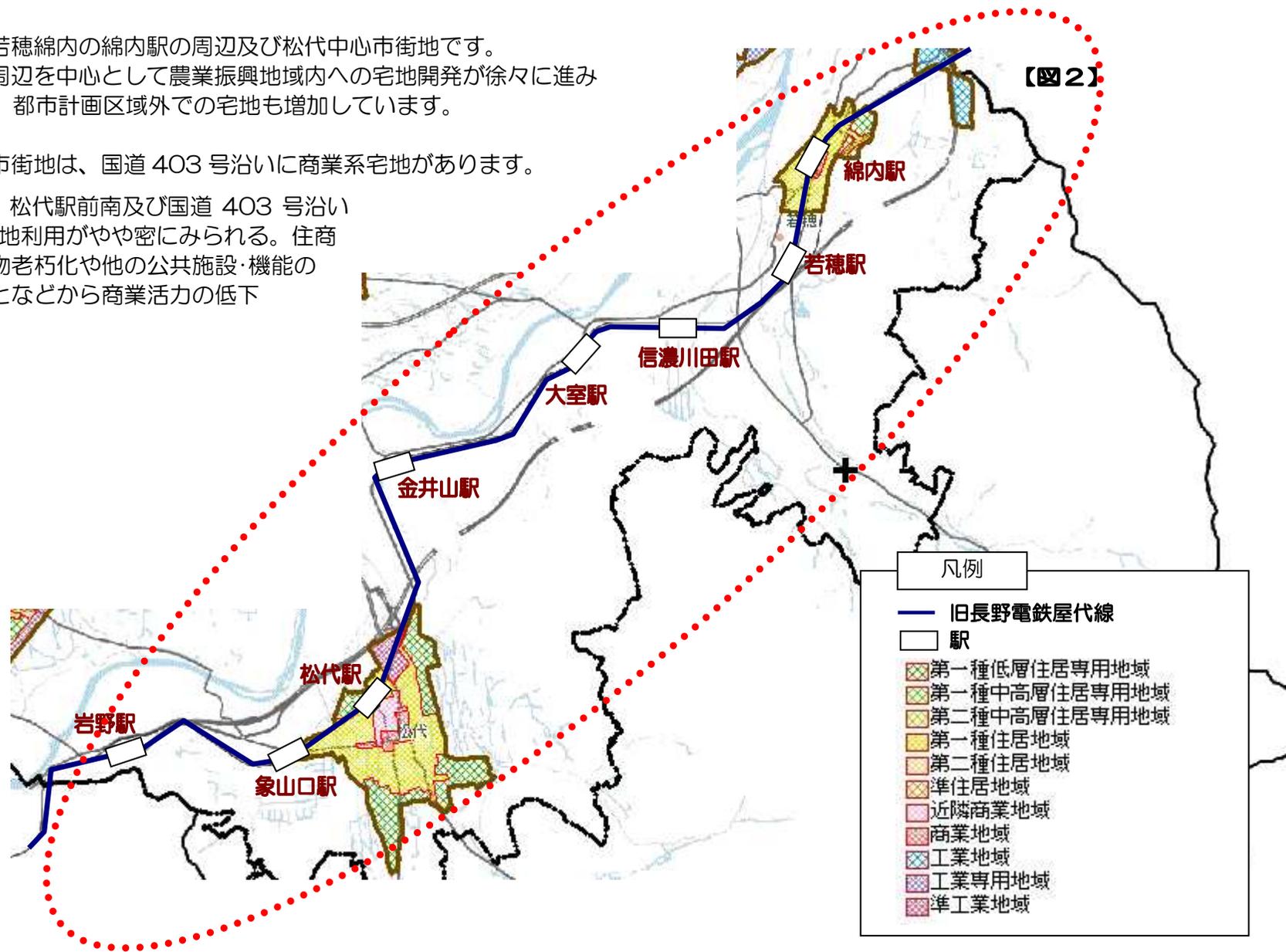
松代地区及び若穂地区においては、生産年齢人口・年少人口が減少し、老年人口の割合が高くなっています。また、松代地区の観光客数はエコールドまつしろにより80万人に増加以降、近年、50万人から60万人で推移しています。(グラフ1)

グラフ1



出典 長野県観光地利用百就計調査結果

- 市街化区域は、若穂綿内の綿内駅の周辺及び松代中心市街地です。
- 市街化区域内と周辺を中心として農業振興地域内への宅地開発が徐々に進みつつある。また、都市計画区域外での宅地も増加しています。
- 若穂綿内の中心市街地は、国道 403 号沿いに商業系宅地があります。
- 松代の市街地は、松代駅前南及び国道 403 号沿いに商業・業務系宅地利用がやや密にみられる。住商混在であり、建物老朽化や他の公共施設・機能の集積が乏しいことなどから商業活力の低下もみられます。



また、長野市都市計画マスタープランに掲げられている中で、跡地活用に関連した沿線地区の地域まちづくり整備方針は、次のとおりです。（表 2）

【表 2】

都市軸	● 松代地区から若穂地区にかけては、周辺地域の拠点や市内に点在する歴史的な街を結び、歴史・文化の交流、観光の周遊性を高める軸の一つとして位置づけられている。
緑のネットワーク	● 松代地区から若穂地区にかけては、グリーンアメニティネット（公園や、街路樹等の緑豊かな環境の整備により生み出される空間）による緑のネットワーク軸の一つに位置づけられている。
都市拠点の整備	● 歩いて暮らせる日常生活拠点の公共交通の結節性を高める。

【松代地域】

項目	整備方針
拠点の形成・都市機能	● 千曲川右岸の地域の生活や観光の拠点とするため、松代城等の地域資源を活かした商業、観光施設などの集積により地域の活性化を図る。
土地利用	● 松代駅から国道 403 号にかけての一带は、地域拠点としての商業機能とともに、松代城や真田邸などを代表とする観光資源の集積した土地利用を誘導する。
道路・交通整備	● 松代地域に点在する史跡や公園等の景観に配慮し、歩行者や観光客が回遊できる歩行者空間の整備を図る。 ● 観光客等の自家用車の中心市街地内への流入を防ぎ、来街者が歩いて回れる街の形成に資するよう、市街地の周辺部に計画的に駐車場を整備する。
自然環境・都市環境・景観形成	● 史跡や武家屋敷など古くからの街並みが残る地区では、地域の観光資源でもある歴史的な街並みの保全と再生を進めるとともに、潤いのある良好な住環境の整備を進める。また、高度地区等の指定を検討する。

【若穂地域】

項目	整備方針
拠点の形成・都市機能	● 綿内駅前や国道 403 号沿いの生活利便施設等の集積を促進するとともに良好な住環境の確保により若穂の生活拠点形成を図る。
道路・交通整備	● 渋滞緩和を図るための幹線道路の整備を進める。
自然環境・都市環境・景観形成	● 旧宿場町の面影を活かした街並み空間の整備。 ● 国道403 号沿いの中心部では、良好な街並みの形成を図る。

2 基本的な考え方

(1) 跡地活用に向けた視点

「1-(1)の沿線地域の諸課題」を踏まえ、跡地活用に当たっては、以下の視点を基本に整理・検討しました。

- 鉄道跡地は、将来にわたり継続的に利用されるものであることから、住民の自主的な取り組みを支援する行政と協働のまちづくりにつながるものとする。
- 屋代線沿線地域が持続的に発展するよう、高齢者の社会参加の促進や定住人口の増加や交流人口の拡大に寄与するものであること。
- 自然、歴史、伝統文化など、豊富な地域資源の魅力を高め、地域の活性化及び観光振興に貢献するものであること。
- 安全・安心・快適な歩行者空間を提供し、歩いて楽しいまちづくりに貢献するものであること。
- 鉄道施設で分断された地域の広域的交流や連携を促し、都市機能の強化や良好な街並みの形成につながるものであること。
- 緑の環境を創出することにより、良好な都市空間の形成に寄与するものであること。
- 広域的交通拠点としての機能強化や回遊性の向上、公共交通機関の連携につながるものであること。

(2) 跡地活用に当たって前提となる考え方

長野電鉄屋代線の跡地活用に当たって、前提となる考え方は、以下のとおりです。

- 不必要な鉄道施設及び付帯施設の撤去は、長野電鉄㈱が行うこと。
- 跡地は、長野電鉄㈱が、以下の問題を解消したのから無償譲渡を受けていくこと。
 - ① 地上権、抵当権、賃借権、その他所有権以外の権利の消滅、境界標の設置、曖昧所有となっている事案の解消等、所有地境界に係る全ての問題の解消
 - ② 土壤汚染対策法への対応など、汚染対象物質等の全除去
 - ・ 特定有害物質（土壤汚染対策法施行令に指定されている 25 物質）の使用について
 - ・ 石炭ガラの埋設について
 - ・ 変電所跡地での PCB に対する土壤調査の実施
- 譲渡までの間の固定資産税等については、課税の公平性を確保すること。

第3章 ゾーン別活用方針

1 概要

沿線地域及び市役所内各課の要望をまとめ、「線路敷地」と「駅（駅舎）」とにゾーン分けして示しています。



2 ソーン別活用方針

ゾーン別活用計画一覧

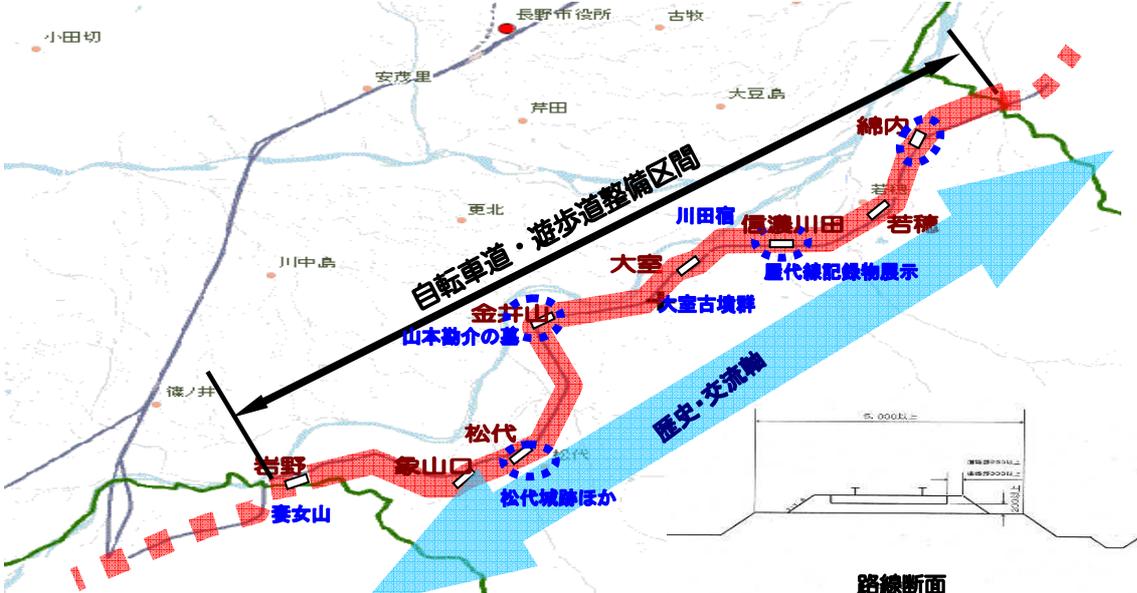
線路敷地		自転車道・遊歩道			
駅ゾーン	駅舎	ホーム	トイレ	駐輪場	その他
綿内	活用 (耐震診断)	片側活用	新設	活用	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場整備 バスロータリー整備 パークアンドバスライド用 駐車場整備
若穂	撤去	撤去	撤去	活用	<ul style="list-style-type: none"> パークアンドバスライド用 駐車場整備
信濃川田	活用 (耐震診断)	片側活用	新設	活用	<ul style="list-style-type: none"> トレインメモリアルパーク 多目的広場整備 パークアンドバスライド用 駐車場整備
大室	撤去	撤去	撤去	新設	
金井山	撤去	撤去	新設	活用	<ul style="list-style-type: none"> 自転車道・遊歩道の休憩所 パークアンドバスライド用 駐車場整備
松代	活用 (耐震診断)	片側活用	既設有	既設有	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場整備
象山口	撤去	撤去	撤去	新設	
岩野	撤去	撤去	撤去	新設	

線路敷地全体

信州の美しい山々を愛で、千曲川沿いの自然豊かな田園地帯の中を、爽やかな風と陽光を受け、点在する歴史的遺産に思いを馳せながら、サイクリングやウォーキングを健康的に楽しむ道路として整備します。

飯縄山、戸隠山、遠くは日本アルプスを望み、千曲川沿いの自然豊かな情景を眺めながら、家族や友達とサイクリングやウォーキング、ジョギングを楽しむ道路として整備します。

また、沿線地域に点在する歴史的遺産や鉄道跡地ならではの風景を訪ねる道として、ウォーキングイベントやスタンプラリーなどの地域と一体となった催しを実施することで、観光振興や地域交流等の活性化に資する道路とします。

項目	活用方針等
位置図	 <p>位置図</p> <p>活用方針等</p> <p>路線断面</p>
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車道・遊歩道として整備します。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 並行する国道 403 号は、自転車道あるいは歩道が不十分な部分があることから、通行者の安全・安心を確保する必要があります。 ➢ 自動車用道路やバス専用道路としては、現状、踏切が非常に多く、トンネルはバスの通行が難しいこと、並行して国道 403 号が走っているといった状況の中、費用対効果を考慮すると自動車用道路やバス専用道路は、難しいと判断し、自転車道・遊歩道として整備します。 ● 主要ポイントの駅は休憩所として整備します。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 綿内駅・信濃川田駅・金井山駅・松代駅舎を休憩所と位置づけ、築後 90 年経過している駅舎もあるため、耐震診断して必要に応じて改修して活用します。 ● 踏切道 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路として使用するため、道路管理者が道路として整備します。

綿内駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	<p>綿内駅周辺用地 約 15,900 m²</p> <p>駅舎・トイレ</p> <p>駅前・駐車場</p> <p>変電所跡地</p> <p>駅東・南域用地</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋代線跡地 代替バス運行路線 代替バス停留所
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎（トイレ含む）・駐輪場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎は、自転車道・遊歩道の休憩所として、また代替バス利用者のための待合所として、耐震診断のうえ、必要に応じて改修して活用します。 ➢ 駐輪場は、代替バス利用者のため活用します。 ➢ 駅舎のトイレは撤去し、ユニット式のトイレを設置して水洗化を図ります。 ● 駅前広場・駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅前広場は、バスロータリーとして整備します。 <ul style="list-style-type: none"> ・綿内屋島線、屋代須坂線等のバスの結節点になっているため、駐車場を活用してバスロータリーとして整備します。 ➢ 残る駐車場用地は、パーク&バスライド用駐車場として活用します。 ● 駅東・南域用地、変電所跡地 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅東・南域用地は憩いの場として、多目的に使える広場とします。 ➢ 変電所跡地は、PCBの処理が終わるまで、長野電鉄が適正に管理していきます。 ● その他 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 長野県が進める国道403号線の道路改良について、線路敷地を活用した道路改良の必要性が出てきた場合には、検討していきます。
現況写真	<p>綿内駅全容（築後90年） （左は駐輪場）</p> <p>変電所</p> <p>駅前駐車場部分 （バス転回場所）</p>

若穂駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
<p>位置図</p>	<p>若穂駅周辺用地 約 1,460 m²</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋代線跡地 代替バス運行路線 代替バス停留所 <p>若穂川</p> <p>若穂綿内</p> <p>若穂駅</p> <p>若穂高架橋</p> <p>駅舎</p> <p>駐輪場</p> <p>長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院付属若穂病院</p> <p>30 15</p>
<p>活用方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎・駐輪場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎・ホーム等の構造物は、全て撤去して更地にして駐車スペースとします。 ➢ 駐輪場は、代替バス利用者のため活用します。
<p>現況写真</p>	<p>駅舎全容(築後56年)</p> <p>駐輪場</p> <p>駅舎へつながる通路</p>

信濃川田駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋代線跡地 代替バス運行路線 代替バス停留所 旧鉄道車両 2000系 <p>信濃川田駅周辺用地 約 12,900 m²</p>
活用方針	<p>☆ 屋代線トレインメモリアルパークとして活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎・駐輪場・電車車両 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎は、自転車道・遊歩道の休憩所として、また、屋代須坂線、保科温泉線のバスの結節点となっていることから代替バス利用者のための待合所として耐震診断のうえ、必要に応じて改修して活用します。 ➢ 鉄道車両 2000系A編成を配置します。 ➢ 駐輪場は、代替バス利用者のため活用します。 ➢ 駅舎のトイレは撤去し、ユニット式のトイレを設置して水洗化を図ります。 ➢ レールマウンテンバイクは、事業としての採算性の観点から導入は困難です。 ● 駅前駐車場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駐車場用地は、パーク&バスライド用駐車場として活用します。 ● 駅南側敷地 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 更地にして多目的広場とします。
現況写真	<p>駅舎全容 (築後90年) と 2000系A車両</p> <p>駅前駐車場</p> <p>駐輪場</p>

大室駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	 <p>大室駅周辺用地 約 450 m²</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋代線跡地 屋代線トンネル 代替バス運行路線 代替バス停留所 大室古墳群へのアクセス道路改良(ルート未定) 排水路の整備
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎（トイレ含む）・駐輪スペース <ul style="list-style-type: none"> ➢ トイレを含めて、建物は全て撤去します。 ➢ 駐輪スペースは、代替バス利用者の駐輪場として屋根付き駐輪場を整備します。 ● 一部用地の使用 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 大室古墳群へのアクセス道路整備のため一部を利用します。 ➢ 大室駅付近の排水路が溢水するケースが多いため、踏切下部に排水路を敷設します。 ● その他スペース <ul style="list-style-type: none"> ➢ 賃貸を含めて有効活用策を検討していきます。
現況写真	 <p>駅舎全容</p> <p>駐輪スペース</p> <p>駅西側の踏切道</p>

金井山駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	<p>金井山駅周辺用地 約 6,500 m²</p> <p>駐輪場</p> <p>松代町柴</p> <p>金井山駅</p> <p>駐車場用地</p> <p>駅舎</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 屋代線跡地 — 代替バス運行路線 ♀ 代替バス停留所
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車道・遊歩道の休憩所とします。 ● 駅舎・駐輪場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎・ホーム等の構造物は全て撤去します。 ➢ 駅舎のトイレは撤去し、ユニット式のトイレを設置して水洗化を図ります。 ➢ 駐輪場は、代替バス利用者のため活用します。 ● 駅前用地 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駐車場用地は、パーク&バスライド用駐車場として活用します。 ➢ 残る駐車場は、賃貸を含めて有効活用策を検討していきます。
現況写真	<p>駅舎・トイレ</p> <p>駐輪場</p> <p>駐車場用地</p>

松代駅周辺ゾーン

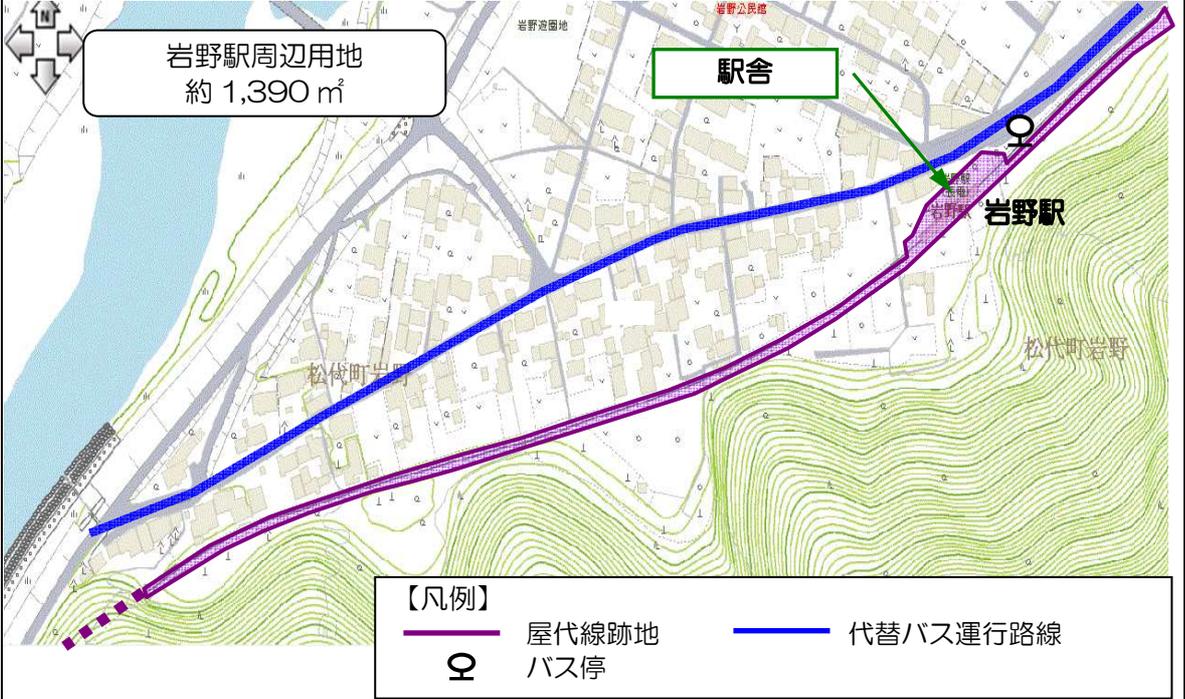
項目	活用方針等
位置図	<div data-bbox="359 392 1005 481" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>長野市歴史的風致維持向上計画 重点区域「松代」全体図</p> </div> <div data-bbox="359 481 989 1075"> </div> <div data-bbox="1021 470 1492 974" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>歴史的風致の維持及び向上に向けて検討を行う事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松代城跡整備事業 ・屋代線線路敷跡道路整備事業 ・松代駅再生活用事業 ・駐車場整備事業 ・大河ドラマ連携イベント事業 ・長野真田線バイパス整備事業 ・神田川再生事業 ・歴史・観光拠点修景事業 ・泉水路保全活用事業 </div> <div data-bbox="1061 1008 1476 1064" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>— 街なみ環境整備計画区域</p> </div> <div data-bbox="367 1108 1029 1142" style="margin-top: 10px;"> <p>*○重点区域は計画策定中のため決定していません。</p> </div> <div data-bbox="805 1153 1460 1243" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>長野市歴史的風致維持向上計画 「松代城跡、松代駅」拡大図</p> </div> <div data-bbox="327 1187 1492 1971"> <div data-bbox="438 1265 805 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>松代駅周辺用地 約 16,400 m²</p> </div> <div data-bbox="1173 1612 1492 1971" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 旧城郭範囲 — 屋代線跡地 ⋯ 現在の史跡指定範囲 ■ 駐車場 ■ 駐車場 ● 松代駅舎 </div> </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活用方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 25 年 6 月までに国の認定を目指す「歴史的風致維持向上計画」(通称「歴まち」)に、松代城跡および新御殿などを中心とする重点区域を定め、この区域の良好な歴史的風致の維持及び向上に向けた事業の推進を図ります。 ● 松代駅周辺の整備、利活用については、長野市都市マスタープランに掲げた整備方針と、今後松代地区で策定する松代地域振興計画との関わりが大きいので、地元と協働して推進を図ります。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅前 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 松代駅前の市道認定用地を市道用地処理します。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>東側駐車場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駅舎 (築後91年)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>殿町駐車場</p> </div> </div>

象山口駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	 <p>象山口駅周辺用地 約 450 m²</p> <p>駅舎</p> <p>象山口駅</p> <p>馬喰町公民館</p> <p>サニーコート溝口</p> <p>松代町清野</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋代線跡地 代替バス運行路線 バス停
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎（トイレ含む）・駐輪スペース <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎・トイレは全て撤去します。 ➢ 駐輪スペースは、代替バス利用者の駐輪場として屋根付き駐輪場を整備します。
現況写真	 <p>駅舎</p>

岩野駅周辺ゾーン

項目	活用方針等
位置図	 <p>岩野駅周辺用地 約 1,390 m²</p> <p>駅舎</p> <p>岩野駅</p> <p>松代町岩野</p> <p>【凡例】</p> <p>— 屋代線跡地</p> <p>— 代替バス運行路線</p> <p>♀ バス停</p>
活用方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎（トイレ含む）・駅前広場 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅舎・トイレは、全て撤去します。 ➢ 駅前の用地については、更地にして、代替バス利用者の駐輪場として屋根付き駐輪場を整備します。 ● 線路敷地の自転車・遊歩道について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 線路敷地は、自転車道・遊歩道として整備します。 ➢ なお、国道 403 号の岩野区間について、長野県が拡幅改良に向け作業を進めています。状況によって線路敷地を活用した道路改良の必要性が出てきた場合には、検討していきます。
現況写真	 <p>駅舎(築後19年)</p> <p>駅前広場</p>

第4章 実現に向けて

1 整備計画の策定

前3章のゾーン別活用方針の実現には、事業区域が広く、整備部分も多岐にわたっていることから、相当の事業費が必要となることが想定されます。

そのため、市有道路として使用する踏切道の整備など、早急に整備する必要のあるメニュー、長期的に整備していくものなど、緊急性や財政状況も踏まえながら、整備メニューの内容を検討し、今後、整備目標時期、概算事業費等をまとめた整備計画を策定し、順次、事業を実施していきます。

2 施設の維持管理等について

旧屋代線の鉄道資産は、地域の活性化に資する活用を目的に、将来にわたって継続的に利用されるものであることから、施設の維持管理の方法については、沿線地域住民と協議し、住民の自主的な取り組みを行政が支援するような手法を作っていきます。

3 長期的な構想について

本基本構想で掲げられている事業及び地域要望で提案された将来的な活用方法については、今後の社会情勢を勘案しながら事業の点検を行い、地域住民と行政が十分に協議をし、地域の活性化に繋がる事業の導入について、継続して検討していきます。

